

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

日本共産党
横浜市議員団
2009. 8. 5号

横浜市中区港町1-1(市庁舎内)
電話 671-3032 FAX 641-7100
E-mail: info@jcp-yokohama.com
http://www.jcp-yokohama.com/

中田市長辞職

あまりにも

突然の市政投げ出し、無責任！

中田宏横浜市長は先月28日、記者会見し、市議会議長に辞職願を提出したことを明らかにしました。市長の任期は来年3月までですが、今回の突然の辞職は、任期を8か月残して職務を投げ出すものであり、4年間の任期を全うすることを前提として投票した83万人余の市民を裏切るものです。

辞任理由、納得できない

中田氏は、記者会見で「円滑に後任市長に市政を託すため、最善のタイミングを選んだ」とのべ、具体的な判断要因として、○新年度予算、機構改革、人事異動などシームレスで後任者に市政を託せる○150周年関連事業が一段落○冬場の市長選は新型インフルエンザの懸念○総選挙と同時選挙だと約10億円の経費節減等を考慮したとしています。

8月は来年度の予算編成方針を決定する重要な時期です。先日発表された決算概要では、今年度の市税収入が当初より215億円不足する見込みです。未曾有の経済危機で、横浜市政の運営の重大な舵取りが必要な時に、辞任することは、市政を投げ出す以外のなにものでもありません。

また、開国博Y150のイベント会場の有料入場者は、7月21日の段階で目標数の12.3%と、きわめて不振です。その対策が求められているに

市長申し入れを秘書室長に手渡す
日本共産党横浜市議団
|| 8月3日 横浜市中区



辞任の記者会見に望む中田宏市長
|| 7月28日横浜市中区

もかかわらず辞任することは、その責任を放棄したことであり、あまりにも無責任です。

さらに、今回の突然の辞任による急な市長選挙は、有権者にとって市長候補者の政策や人柄を知る機会が保障されません。

日本共産党市議団が声明、申し入れ

日本共産党横浜市議団は28日、中田市長の突然の辞任について声明を発表し、今後中田氏が政治団体を核に国政復帰を模索することから、「今回の辞任劇は、自らの政治的野望実現のために横浜市政を踏み台にして、市長職を国政での活動のキャリアとして利用したものと批判しました。さらに、2期7年の中田市政について「行政改革の名のもとに市民サービスを切り刻み、コスト最優先の行政の民営化を強行し、横浜市政をずたずたにしてきた」として、「今回の市長辞任を市政を転換するチャンスとして受け止め、市民に市政を取り戻すため、全力を尽くす」と表明しました。

また、3日には市長に申し入れを行い、横浜市会全員協議会を召集し、辞任理由について市民の代表である議員に説明するとともに、議員からの質問に答えるよう求めました。